2017年2月25日

PGM

PGM 世界ジュニアゴルフ選手権
日本代表選抜大会

九州・沖縄予選　ワールドＣＣ（熊本）
予選大会結果のお知らせ

＜ＰＧＭ　世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会　九州・沖縄予選＞
◇2017年2月25日（土）　◇熊本・ワールドＣＣ（15－17歳男子6995ヤード、パー72ほかカテゴリー別）
◇出場135人

＜九州・沖縄予選　概況＞
15―17歳の部男子は、坂本優心（福岡・常磐高1年）が３アンダー69の好スコアをマークし、1位で西日本決勝大会（４月１、２日、佐賀・若木ＧＣ）に進んだ。２位には１オーバー73で回った米山慶（鹿児島・甲東中３年）が入った。同女子は２オーバー74で辛島寧那（福岡・常磐高1年）と小出響（長崎・佐世保北高1年）が並び、18番からのカウントバックで辛島が1位、小出が2位で決勝大会に進出した。13－14歳男子では、ただ1人70台の７オーバー79で回った上山捷馬（宮崎・橿中２年）がトップ通過。同女子では、後半のアウトを1アンダー35で回った竹田麗央（熊本・合志中１年）が2オーバー74で1位となって決勝大会に駒を進めた。
西日本決勝大会でIMGA世界ジュニアゴルフ選手権（７月、米国サンディエゴ）西日本エリアの日本代表が決まる。

＜九州・沖縄予選　予選結果＞
西日本ブロック決勝の進出者は以下の通り。＊敬称略
▽15－17歳男子
【１位】坂本優心（福岡・常磐高1年）＝69
【２位】米山　慶（鹿児島・甲東中３年）＝73
【３位】茅島隆太（長崎・長崎日大中３年）＝79
【４位】谷　和也（福岡・常磐高１年）＝79
【５位】坂本卓観（熊本・クラーク記念高１年）＝79
▽同女子
【１位】辛島寧那（福岡・常磐高1年）＝74
【２位】小出　響（長崎・佐世保北高1年）＝74
【３位】小野里リア（熊本・クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン熊本分校）＝76
【４位】江川琴美（宮崎・住吉中２年）＝78
【５位】内田夢乃（福岡・城南中３年）＝78
【６位】谷口美月（福岡・常磐高１年）＝81
【７位】白川ほのか（福岡・福間中2年）＝82
▽13－14歳男子
【１位】上山捷馬（宮崎・橿中２年）＝79
【２位】高宮千聖（熊本・合志中２年）＝80
【３位】桜井　豪（長崎・山里中２年）＝81
【４位】下園航太（福岡・守恒中１年）＝82
【５位】内村咲太（宮崎・日章学園中２年）＝82

▽同女子
【１位】竹田麗央（熊本・合志中１年）＝74
【２位】山田萌結（長崎・山里中１年）＝78
【３位】松永七海（佐賀・千代田中１年）＝80
【４位】亀川美羽（長崎・長崎大教育学部付中１年）＝80
【５位】中道ゆい（熊本・八代第一中２年）＝81
【６位】高原花奈（宮崎・日章学園中２年）＝82
【７位】稲永恋雅（福岡・志免西小６年）＝83
【８位】岩崎星乃（福岡・志免中２年）＝83
【９位】三宅紗来（熊本・合志中２年）＝83
▽11－12歳男子
【１位】吉田京介（大分・南部小６年）＝76
【２位】林田直也（福岡・吉田小6年）＝78
【３位】濱山文飛（福岡・別府小6年）＝78
【４位】上山虎雅（宮崎・橿北小５年）＝83
【５位】世良　博（福岡・八枝小６年）＝84
【６位】小窪都斗（鹿児島・鹿児島大教育学部付小６年）＝84
【７位】村松　陸（熊本・菊陽西小６年）＝85
▽同女子
【１位】左　奈々（福岡・原西小４年）＝70
【２位】荒木優奈（熊本・築山小５年）＝77
【３位】森田莉央（福岡・京町小５年）＝78
【４位】三明桜子（福岡・玄洋小５年）＝78
【５位】外園華蓮（鹿児島・高山小６年）＝79
【６位】山内美桜（福岡・有田小６年）＝80
【７位】前田愛結（福岡・泉小５年）＝81
▽９－10歳男子
【１位】会津誠之輔（福岡・頴田小4年）＝84
【２位】黒木慎之介（宮崎・平岩小3年）＝86
【３位】丸尾怜央（宮崎・宮崎南小４年）＝86
▽同女子
【１位】荒木七海（熊本・築山小３年）＝72
【２位】宮城　柚（沖縄・喜名小３年）＝85
【３位】呉屋心和（沖縄・北美小４年）＝91
▽７－８歳男子
【１位】穴井伸直（大分・大分大教育学部付小2年）＝74
【２位】呉屋陽星（沖縄・北美小２年）＝87
▽同女子
【１位】林田万輪（熊本・月出小２年）＝89
（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

◇15-17歳の部男子◇２月25日◇熊本・ワールドＣＣ（6995ヤード、パー72）

坂本優心（福岡・常磐高1年）が後半の猛チャージをみせて１位で西日本決勝大会（４月１、２日、佐賀・若木ＧＣ）に進んだ。「後半、やばかったです」というのは、4バーディーの32で回り、「ハーフでこのスコアは初めて」と自分でびっくりし、3アンダー69も試合での自己ベストになった。アウトは1オーバーで折り返したが、同じ学校の同学年、谷和也がイーブンパーで回ったと聞いて発奮したという。10番で10メートルほどのロングパットを入れて気をよくした。「前半はアイアンの距離感が合わなかったのが、後半はよくなった」と要因を振り返った。ショットを安定させようと、今年の冬から体が開く癖の矯正に取り組んでいて「成果が少し出た」という。この予選に出るのは初めてで「去年世界ジュニアに出た松田正史君（13―14歳の部）と一緒に回ったときに聞いて、出たいと思った。決勝大会では、今日の後半のようなプレーができるようにしたい」と、意気込んでいた。

◇15-17歳の部女子◇２月25日◇熊本・ワールドＣＣ（6254ヤード、パー72）

辛島寧那（福岡・常磐高1年）と小出響（長崎・佐世保北高1年）がトップのスコア、２オーバー74で西日本決勝大会（４月１、２日、佐賀・若木ＧＣ）に進んだ。18番で５メートルのバーディーを決めた辛島がカウントバックで1位となり、メダリストに。「後半（アウト）の1番でいきなりバンカーから出なくてダブルボギーにしてしまって、後半悪かった（40）のが反省点」と振り返る。「レベルの高い世界ジュニアに出て、何かを見つけてきたい」と、決勝大会を見据える。

２位通過となった小出は、１バーディー、３ボギーだったが「自己ベストが74なのでスコアはいいんですけど、もったいないこともしてしまった」という。「高校でちゃんと勉強したかった」と、佐世保市内屈指の進学校に進学し、練習は週4日3時間ほど。「水曜日（22日）まで試験でゴルフを１週間ぐらいしていなかったので、この３日間ひたすら打ってきました。まだ調子が戻らなかった」といい、決勝大会には「得意のパターを固めていきたい」と、当面の目標のアンダーパー、そして世界につなげる。

◇13-14歳の部女子◇2月25日◇熊本・ワールドＣＣ（6254ヤード、パー72）

竹田麗央（りお、熊本・合志中１年）が２オーバー74で回り、２位に４打差をつけるトップで西日本決勝大会（４月１、２日、佐賀・若木ＧＣ）に進出した。前半インは「アイアンが乗らず、アプローチが寄らず」の３ボギーと苦しんだが、後半は徐々に精度を取り戻してパーを重ね、９番で３メートルを入れて１アンダーで回った。「トータルアンダーで回りたかったので（１位も）あまりうれしいとは言えません」と、悔しさの方が勝っている様子。母は女子プロゴルファー平瀬哲子、おばは同じく平瀬真由美と、女子プロゴルフ界で活躍した姉妹の血を受けついでいる。「母からは飛ばすこととパッティングの大事さをいつも言われます」という。身長は母に近づく１６１センチになり、ドライバー飛距離も２５０ヤードまで伸びてきている。昨年はこの予選で落ちた。今回は堂々のトップで西日本決勝大会へ。「日本と違う環境でやってみたら、日本でも生かせると思う」と、世界を視野に入れている。

写真
上左＝15-17歳男子　坂本優心
上右＝15-17歳女子　小出 響
下左＝15-17歳女子　辛島寧奈
下右＝13-14最女子　竹田麗央
写真クレジット：©IJGA2016